

15:47受

1/3

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19881報)

2019年 7月10日 15時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 7月 9日]</li> <li>・地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果 [採取日 7月 8日]</li> </ul> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2019年7月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽観測孔 分析結果(2019年7月9日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻		7:33				7:40				7:47		
全ベータ(Bq/L)		ND(23)				ND(23)				ND(23)		

地下貯水槽観測孔(i~iii)							地下貯水槽観測孔(vi)					
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3		
採取時刻		7:53				8:00						
全ベータ(Bq/L)		ND(23)				ND(23)						

(注)NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

2019年7月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果(2019年7月8日分)

	地下水バイパス 調査孔			海側観測孔							
	a	b	c	①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
採取時刻		7:53	8:09						8:30		
全ベータ(Bq/L)		ND(22)	ND(22)						ND(22)		
トリチウム(Bq/L)		26	30						19		

半減期 トリチウム:約12年

\* トリチウム以外のデータは7月9日にお知らせ済み。

(注)NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

15:47受

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19882報)

2019年7月10日15時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 7月 8日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分: その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2019年7月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	7月8日	7月8日	7月8日	7月8日
採取時刻	7:08	9:18	6:58	9:22
Cs-134(約2年)	39	68	280	11
Cs-137(約30年)	560	900	3,600	160
全β	680	2,700	4,300	220
H-3(約12年)	ND(110)	430	ND(110)	150

\* NDは検出限界値未滿を表し、( )内に検出限界値を示す。

15:47受

1/8

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19883報)

2019年7月10日15時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [7月10日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 7月9日]</li> <li>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 7月9日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 7月5日、9日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 7月9日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社及び第三者機関による分析結果については、運用目標値を満足していたことから、7月11日に排水を実施します。      排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 7月2日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年7月10日 11:00現在

【重要事項】  
各計測器については、地震やその他の緊急事態の影響を受けて、通常の使用環境条件を  
超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。  
プラントの状況を把握するために、このような計測器の不確かさを考慮し、追加  
の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	給水系: 1.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	給水系: 1.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	
原子炉炉力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 23.0 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 22.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 22.8 °C (7/10 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.3 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 28.4 °C (7/10 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 26.1 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 25.2 °C (7/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 23.1 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 22.9 °C (7/10 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 28.9 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 28.5 °C (7/10 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 26.4 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 24.7 °C (7/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.27 kPa g (7/10 11:00 現在)	2.42 kPa g (7/10 11:00 現在)	0.39 kPa g (7/10 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RV/H): - Nm <sup>3</sup> /h ※6 (JP-A): 27.99 Nm <sup>3</sup> /h ※6 (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h ※4 PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4 (7/10 11:00 現在)	RPV: 8.21 Nm <sup>3</sup> /h ※4 PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4 (7/10 11:00 現在)	RPV: 16.80 Nm <sup>3</sup> /h ※4 PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4 (7/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.6 m <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	13.93 Nm <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	17.84 Nm <sup>3</sup> /h (7/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (7/10 11:00 現在)	A系: 0.09 vol% B系: 0.10 vol% (7/10 11:00 現在)	A系: - vol% B系: 0.06 vol% (7/10 11:00 現在)	※7
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.90E-04 検出限界値 4.10E-04 B系: 指示値 1.06E-03 検出限界値 3.50E-04 (7/10 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 (7/10 11:00 現在)	A系: 指示値 - 検出限界値 - Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 (7/10 11:00 現在)	※7
使用済燃料プール 水温度	27.9 °C (7/10 11:00 現在)	28.1 °C (7/10 11:00 現在)	27.4 °C (7/10 11:00 現在)	※5 (7/10 11:00 現在)
FPC 注水ノック 水位	3.64 m (7/10 11:00 現在)	4.30 m (7/10 11:00 現在)	4.53 m (7/10 11:00 現在)	67.1 x100mm (7/10 11:00 現在)

【計測器に関する情報】  
※1: 原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。  
※2: 原子炉格納容器放射能濃度の場合はNDと記載する。原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) を記載する。  
※3: 使用状態の温度・圧力で流量修正した値を記載する。  
※4: 窒素封入停止中  
※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中  
※6: 窒素封入量低下 (PTW)  
※7: 作業者に伴い一時欠測

3/8

2019年7月10日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for date (6/23 to 7/9) and rows for measurement locations ① through ⑨. Data includes numerical values and 'ND' (Not Detected) with coordinates.

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for date (6/23 to 7/9) and rows for measurement locations ① through ⑨. Data includes numerical values and 'ND' with coordinates.

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for date (6/23 to 7/9) and rows for measurement locations ① through ⑨. Data includes numerical values and 'ND' with coordinates.

- <測定場所>
①4号7/8建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤埋固体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトハンカ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧埋固体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトハンカ建屋南東

※「-」はサンプリング・測定を実施していないことを示す。
※①は②が採取不可能だったため、地下水高の上流側として測定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※②は地下水高の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※③を追加で測定(2011/5/30~)
※④を追加で測定(2011/8/2~)
※⑨は検出限界値未満を示し、( ) 内に検出限界値を示す。



4/8

2019年7月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路					物揚場排水路				
	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
採取日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
採取時刻	7:10	7:15	7:20	7:15	7:07	7:15	7:11	7:25	7:10	7:12
降雨量(mm/日)	0	1.5	40.5	3	0	0	1.5	40.5	3	0
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.56)	0.64	ND(0.60)	ND(0.56)	ND(0.70)	ND(0.77)	ND(0.78)	ND(0.62)	ND(0.74)	ND(0.73)
Cs-137(約30年)	5.4	9.5	4.4	5.3	7.6	7.3	4.0	3.7	11	5.3
全β	9.3	17	10	11	10	14	3.5	7.2	21	7.7
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路					BC排水路				
	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
採取日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	0	1.5	40.5	3	0	0	1.5	40.5	3	0
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	4.2	1.5	1.2	11 <sup>*</sup>	2.3	ND(0.66)	ND(0.57)	ND(0.65)	ND(0.65)	ND(0.61)
Cs-137(約30年)	62	23	21	150 <sup>*</sup>	38	ND(0.78)	ND(0.78)	1.1	ND(0.83)	ND(0.68)
全β	95	28	37	230 <sup>*</sup>	60	6.6	5.2	4.6	1.1	5.5
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 本枠内が今回公表データ。他は7月9日までにお知らせ済み。

\* 測定対象外の項目は「-」と記す。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\* 降雨の影響により上昇したと考えられる。

2019年7月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							7月5日 8:36	7月5日 9:25			7月5日 7:54	7月5日 9:12	7月5日 8:31	7月5日 9:03	7月5日 8:17
塩素(単位: ppm)							ND(0.31)	1,400			ND(0.43)	40	ND(0.34)	0.46	ND(0.41)
Cs-134(約2年)							ND(0.40)	19,000			0.58	540	ND(0.48)	11	ND(0.58)
Cs-137(約30年)							ND	24			ND	ND	ND	ND	ND
その他															
γ															
全β							37,000	140,000			19	2,100	25,000	26,000	84,000
H-3(約12年)							42,000	1,500			1,200	29,000	1,300	440	25,000
Sr-90(約29年)															

採取日	12号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	23号機 改修ウエル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	34号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

\* 本枠内が今回公表データ。他は7月6日にお知らせ済み。  
 \* NDは検出限界値未満を、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

5/8

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							7:56	6:39	7:09		7:23	7:14	6:42	6:52	7:42
塩素(単位: ppm)							ND(0.38)	1,300	95		ND(0.44)	33	ND(0.32)	0.56	ND(0.41)
Cs-134(約2年)							ND(0.49)	18,000	1,300		0.62	470	ND(0.42)	11	ND(0.51)
Cs-137(約30年)							ND	15	ND		ND	ND	ND	ND	ND
その他															
γ															
全β							36,000	140,000	9,900		ND(15)	1,900	22,000	23,000	86,000
H-3(約12年)							分析中	分析中	分析中		分析中	分析中	分析中	分析中	分析中
Sr-90(約29年)															

  

採取日	12号機 ウェルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	23号機 改修ウェル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	34号機 改修ウェル 汲み上げ水
採取時刻	7月9日														
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

\* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

6/8

7/8

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日		
採取時刻	7:25	7:20	7:02	6:38	6:43	6:20	6:30	6:34		
Cs-134 (約2年)	ND(0.75)	ND(0.41)	ND(0.59)	0.56	1.2	ND(0.58)	ND(0.45)	ND(0.27)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.64)	ND(0.54)	0.62	7.3	19	ND(0.66)	ND(0.52)	0.99	90	10
全β	—	ND(17)	17	ND(17)	39	13	ND(15)	ND(14)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	分析中	分析中	60,000	10,000
Si-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	分析中	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日	7月9日		
採取時刻	6:38	6:40	6:32	6:36	6:36	6:36	6:30	6:34	6:34		
Cs-134 (約2年)	ND(0.43)	ND(0.19)	ND(0.31)	ND(0.60)	ND(0.60)	ND(0.60)	ND(0.45)	ND(0.27)	ND(0.27)	60	10
Cs-137 (約30年)	2.5	0.53	1.1	1.8	1.8	1.8	ND(0.52)	0.99	0.99	90	10
全β	ND(14)	ND(14)	16	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(14)	ND(14)		
H-3 (約12年)	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	60,000	10,000
Si-90 (約29年)	—	分析中	—	分析中	分析中	分析中	分析中	—	—	30	10

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。

\* 物揚場前は、シルトフエンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/8

2019年7月10日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一 廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

Gr3 (グループ3)		運用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関		
採取日	2019年7月2日	2019年7月2日		
採取時刻	8:24	8:24		
貯水量 [m <sup>3</sup> ]	2,260	2,260		
セシウム134	ND(0.65)	ND(0.52)	60	10
セシウム137	ND(0.63)	ND(0.43)	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし		
全ベータ	ND(0.73)	ND(0.48)		
トリチウム	110	120	60,000	10,000

\* 第三者機関: 日本分析センター  
 \* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。  
 (注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げた実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第1 第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])  
 ※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

15:47受

1/1

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要(原子炉施設)

(第19884報)

2019年7月10日15時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19876報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 10時15分</li> <li>・排水終了 : 14時42分</li> <li>・排水量 : 663m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。